

同窓会東京支部第61回総会

令和5年10月15日

東京・大手町サンケイプラザで同窓会東京支部の第61回総会が開催され、私もご招待いただき参加しました。来賓はほかに、尾野同窓会長、太田同窓会事務局長、今後県東京事務局長、阿部東京県人会幹事、服部神戸市東京事務局長です。ちなみに服部所長は、神高37回生でもあります。昨年は、コロナ禍で懇親会は円卓ではなく、講義形式の机の配置でしたが、今回は従来の形態で実施でき、上は神高5回生（89歳）の先輩から、下は73回生（21歳）の方までの参加により、盛大な会となりました。

はじめに神高10回生で作詞家の鈴木紀代（本名 鈴木 清）さんの「私の演歌道」と題した講演を拝聴しました。40歳にして一念発起し、それまでとは全く異なる作詞家の世界に飛び込むチャレンジ精神には驚きました。生徒たちには鈴木さんのチャレンジ精神を見習ってほしいと感じました。懇親会の最後は、サリマライズの合唱、一中、県一、神高の校歌とエールで締めくくられました。楽しいひとときを過ごさせていただきました。ありがとうございます。

また、せっかくの機会でしたので、早稲田大学にある村上春樹ライブラリーを訪れました。建物や館内のデザイン、本の配置やジャズも流れる空間に、とても感動しました。たくさんの一般の方が訪れていらっしゃいました。実は、この事務長をされているのは、神高42回の大前研二さんです。「村上春樹さん、井深大さん、お二人の神戸高校・早稲田大学卒の大先輩の名の元、このような形で関われることを誇りに感じつつ、国内外に、その魅力を発信していけたらと思っています。」とおっしゃっています。私も早稲田大学校内を散策中に本校と同じように井深ホールとあるのが目にとまり、館内まで入ってしまいました。深いご縁を感じました。

